

高校2年の夏休みに… 新型コロナワクチン接種後 “原因不明の疾患” 副反応の救済申請を自治体は1年半放置していた【“ワクチン後遺症”を考える シリーズ13】「

1/4 CBCテレビ



▼CBCでは新型コロナワクチンの副反応問題などについて、2021年から取材を進めてきました。これまで放送した内容を複数回に分けて振り返ります。この記事は、2025年に放送したものです。
ワクチン接種後に全身の倦怠感や痛みに悩まされている20歳の女性がいます。

国に救済制度にも申請したのですが、それが1年半もの間放置されたままだったのです。
一体何があったのか、実情を取材しました。

岐阜県関市に住む20歳の女性は、新型コロナワクチンの接種後、もう3年半体調不良が続いている。

(女性)

「接種の2、3か月後から股関節が痛くなつて、痛み止めを飲んでも治らないし、MRIを撮ったけれど異常がなくて、痛みがある中生活していたら1月に一気に症状が出ました」
女性がワクチンを接種したのは2021年8月、高校2年の夏休みでした。

2回目の接種の数か月後に足が痛くなり、翌年の1月には全身に力が入らなくなりました。

■食事を噛むだけで疲れる 体重は約10キロ減少

握力は右が0.5キロ、左が1.5キロにまで低下しました。

箸を扱うこともできず、食事にはフォークやスプーンを使いますが、噛むだけで疲れるため食べる量も減りました。

(女性)

「体重も10キロくらい病気になってから落ちました」

■夜も眠れないほどの痛みが全身に

(大石邦彦アンカーマン)

「見た目は普通なので余計に周りの理解がないとか、そのギャップでつらい思いをしなかったですか?」

(女性)

「高校の時がそうでした。『元気だからできるでしょ』とか言われて…」

医師が作成した新型コロナワクチンの副反応疑いの報告書。女性の病名は「筋痛性脳脊髄炎」。

強い疲労感や脱力感が続く原因不明の病気で、「ワクチンとの因果関係を疑う」と明記されています。

(女性)

「ズキズキだったり…そんな感じの痛みが全身に。本当にひどいと夜も眠れないくらいの痛みだったりします」

女性は体のさまざまな場所に激しい痛みが起きる原因不明の疾患「線維筋痛症」も併発しています。

■救済申請を1年半も放置していた岐阜・関市

(大石)

「身体障害者診断書・意見書には『両上下肢の著しい障害。原因となったのは筋痛性脳脊髄炎』と書いてあります」

(母親)

「この病気は治療法がないんですが、ずっと症状緩和の薬を飲み続けないと、痛くて、だるくて生活できない」

(大石)

「改善の兆しは見られないですか?」

(母親)

「改善の兆しは見られない。むしろ発症した時よりもちょっとひどくなっています」

障害の重さから、女性は障害者手帳1級の認定を受けました。

国の予防接種健康被害救済制度にも申請しました。ところが…

(母親)

「申請して1年半たつけど、と思って保健センターに問い合わせたら、『実は申請書類が出されていませんでした』と言われた」

関市は、女性の申請を受理した後、岐阜県に送らず1年半も放置していたのです。

■他にも5人の救済申請を放置していた

なぜ関市は放置していたのでしょうか。

(大石)

「最初の段階でなぜ止まってしまったんですか?」

(関市の担当者)

「いろいろさかのぼって調査をしたのですが、最終（県に）出したという確認などができるになかったことが分かりました」

さらに関市は、他に5人の救済申請を同じように放置していました。

(大石)「1年半放置したことについて、どのような思いなのでしょうか?」

(関市の担当者)

「申請された方々には申し訳ないとしか言えなくて、市ができることとしては早急に県への提出を進めましたし、本当に最短で見てもらい、国にも早急にという意見付きで出してもらいました」

救済申請は、患者自身がカルテなど必要書類を集めて市町村へ提出します。調査委員会の検討を経て、県、そして国へ送られ審査会で結果が出ます。

ワクチン接種後の体調不良を訴える患者の会が2023年から行った全国調査では、回答があつた12府県の平均で審査結果が出るまで平均491日、1年4ヶ月余りかかることがわきました。

女性のケースは速やかに国へあげられたということですが、結論はまだ先になる見込みです。

■5分も立っていられず・・・ワクチンとの関連は?

女性の母親は、障害年金や、医療費の助成など、さまざまな手続きに追われています。

娘が健康な時には想像もしていませんでした。高校時代はバスケに打ち込み、休みの日は毎日のように自転車で出かけていた女性。

今は5分も立っていられず、日常生活は困難に。

高校は何とか卒業できましたが就職はできず、体調の良い日は障害者の就労支援施設に通っています。

(大石)「いま日々生活していて何が一番きついでしょうか?」

(女性)「自分がやりたいことができないことです」

(大石)「今、20歳ですが、本来はどんなことをしたかったですか?」

(女性)「本来は普通に働きながら友達と旅行へ行くなどしたかった」

CBCテレビ「チャント!」2025年放送より

【“ワクチン後遺症を考える”これまでの記事】

▼新型コロナワクチン接種後に急死… 検視をしても原因不明 医師が注意呼び掛ける“ある副反応”

▼新型コロナワクチンを打っても“未接種扱い”に 厚労省「理由は不明だが意図的なものではない」 突如データ“修正”

▼波紋広がる 厚労省のずさんなデータ分類 不可解な修正 食い違う主張

▼新型コロナワクチン接種5分後に「手足がビリビリと痺れて…」 厚労省の現場職員“データ修正”認める

▼体温計に残された41.5度の表示 ワクチン接種後に39歳息子が死亡 「検視時の体温が非常に高かった、普通じゃ考えられない」

▼「溺れるように苦しくて」 新型コロナワクチン接種13分後にアナフィラキシー 突然膝から力が抜け歩くこともままならず

▼浴槽に沈んでいた13歳の息子 新型コロナワクチン接種数時間後に急死 因果関係は“評価不能”

▼「娘の顔が分からない」 5回目のワクチン接種後に起きた“異変” 震えが止まらず発熱・記憶障害も… 当然とされた医療従事者の接種

▼顔中に赤黒い内出血が… 手足も膨れ上がる 新型コロナワクチン接種後に夫が難病を発症し死亡 「検証されないと無駄死に」

▼「私は歩けないです。排せつができないんです」 新型コロナワクチン接種後に“下半身不随”的男性 国の結論は“評価不能”

▼「接種後 首に痛みが…」 “ワクチン後遺症”教える大学教授 当事者になって知った救済制度の高い壁

▼高校2年の夏休みに… 新型コロナワクチン接種後 “原因不明の疾患” 副反応の救済申請を自治体は1年半放置していた

▼「元の体に戻りたい」「薬害だと思っている」 “新型コロナワクチン後遺症”に悩む患者たち 救済されずかさむ医療負担